『NHK年鑑』を利用される方に

『NHK年鑑』は，1931年に『ラヂオ年鑑』として創刊され，テレビ放送の始まった翌年の1954年に『NHK年鑑』と改称されました。

太平洋戦争中に３年間（1944～1946年）休刊した（1947年版でまとめて掲載）ほかは毎年発行して放送の歩みを体系的・継続的に記録し続けてきました。

本書2015年版は，原則として2014（平成26）年４月～2015（平成27）年３月の動きを対象に記録しています。

本書の主なポイントは以下のとおりです。

○東日本大震災関連については，引き続き，口絵グラビアで紹介するとともに，第１部「2014年度の動き」の中で章を設け，復興に向けた動き，原発事故のその後，NHKの取り組みなどを掲載しました。

○新しい放送サービスである「４K・８Kスーパーハイビジョン」「ハイブリッドキャスト」の動向について，口絵グラビアで紹介するとともに，第１部「2014年度の動き」第１章「放送界の動き」に掲載しました。

刊行するにあたって，ご協力いただきました多数の執筆者，また，編集関係の各位に対し厚く御礼申し上げます。

・NHKが取り組んでいる環境経営（エコ）の一環として，2011年版から再生紙を使用していますが，さらに本書から，植物油インキより環境にやさしい「Non-VOCインキ」（大気汚染の原因となる鉱物系溶剤が１％未満のインキ）を使用しています。

・『NHK年鑑』のNHK関係部分については，下記のアドレスでご覧いただけます。

http://www.nhk.or.jp/bunken/book/

表記方法など

①表記は，原則として『NHK漢字表記辞典』（新常用漢字表に対応），『NHKことばのハンドブック　第２版』に準拠した。

②年の表示は，原則として西暦で統一した。

③固有名詞（社名など）の漢字は，人名以外は，原則として新字体で統一した。

④企業名，チャンネル名等については適宜，通称・略称を使用した。

⑤番組名には『　』，シリーズ名や個別のタイトルには「　」を使用した。

例:『NHKスペシャル』「集団的自衛権を問う」
『連続テレビ小説』「マッサン」

⑥番組解説等については，次の記号を使用した。

総合テレビ＝G	ラジオ第２＝R2
Eテレ＝E	FM放送＝FM
BS1＝BS1	テレビ国際放送＝T国際
BSプレミアム＝BSP	ラジオ国際放送＝R国際
ラジオ第１＝R1	

⑦NHK関連団体については次のように略称した。

NEP　＝NHKエンタープライズ
NED　＝NHKエデュケーショナル
Gメディア　＝NHKグローバルメディアサービス
JIB　＝日本国際放送
NPN　＝NHKプラネット
NSC　＝NHKサービスセンター

⑧「放送日誌」の作成には，以下を参考にした。

朝日・毎日・読売・日経の各紙
『新聞研究』『月刊民放』『放送研究と調査』

⑨視聴率は，特に断らない限り「ビデオリサーチ調べ，関東地区」を使用した。

⑩口絵グラビアは，NHKのニュース，番組広報写真のほか，共同通信社などの写真を使用した。